

# 特許情報に関する言語生成モデルを 活用した知的財産創造手法の開発

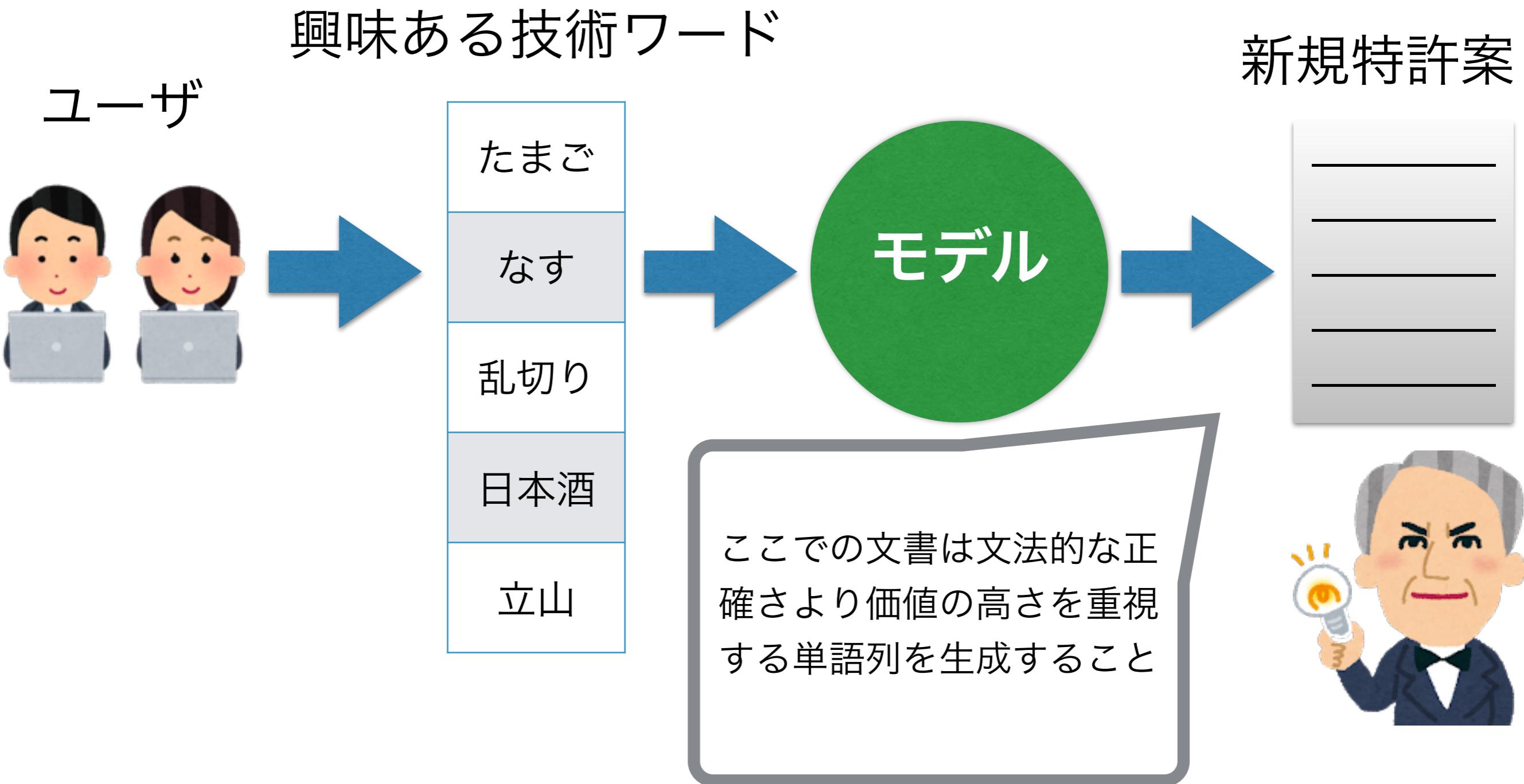
Development of Intellectual Property Creation Method  
Using Language Generation Model on Patent  
Information  
Shigeaki Onoda

Friday., 6 28, 2019,  
Toyama Prefectural Univ.

# モデルのUI

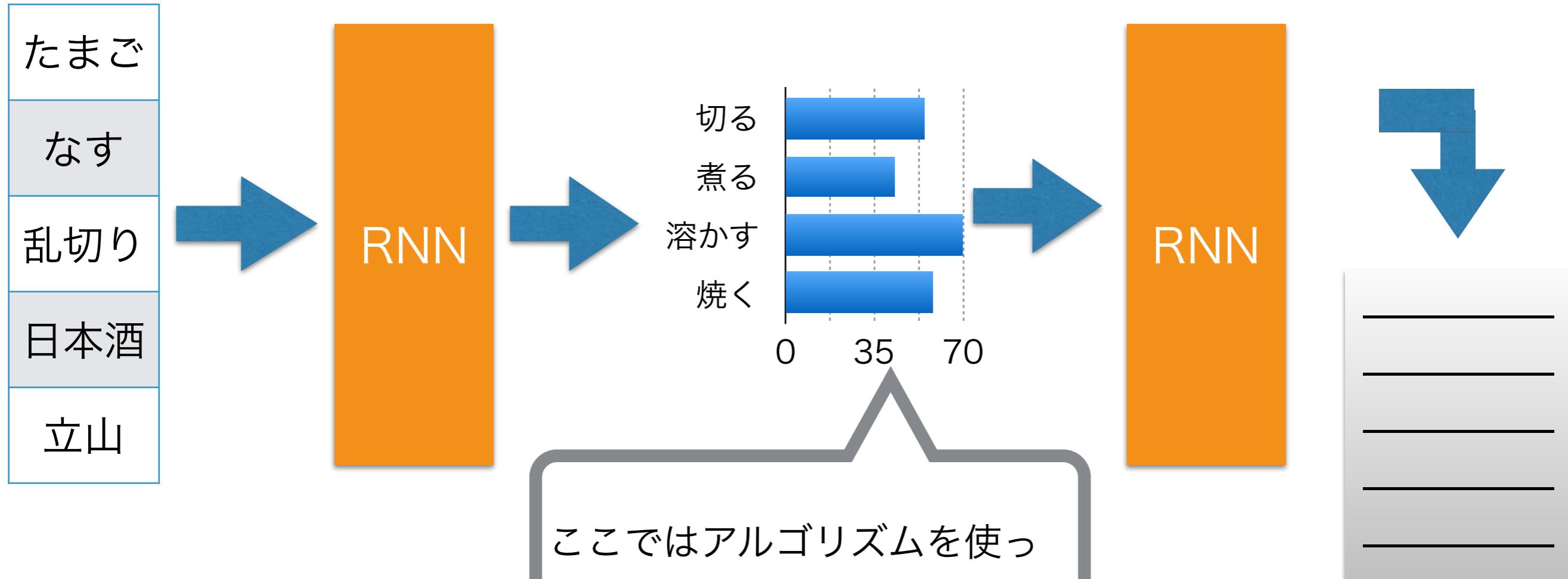
- ・ 前回奥原先生にご指摘頂いたシステムそのもののデザインについて紹介します
- ・ アドバイス等あれば是非おねがいしますm(\_ \_)m

# システム草案



# モデルのコンセプト

入力 エンコーダ 確率分布  $\alpha$  デコーダ



ここではアルゴリズムを使って単語選択

- ・貪欲法
- ・ビームサーチ

# 価値の導入案

生成モデルの損失関数

$$L = \max\left(\sum \log P_t(S_t)\right) \cdot \text{ここで } S \text{ は単語列}$$

- ・ **案1**：この損失関数に価値の変数を加える
- ・ **案2**：アルゴリズム部に価値を考慮したロジック導入
- ・ **案3**：マルチモーダルでキーワードと特許パラメータを入力とする（ユーザが使うときどうするか考慮しなければならない）
- ・ **案4**：M1で作った特許価値を含む単語重みを利用する

何かアドバイスあれば  
お願いします